

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事業所は2階3階であり、職員のみでの避難には限界がある。	近隣住民の協力が得られるように働きかける。	運営推進会議等において施設の現状を報告し自治会長を通じて町内への働きかけを行う。	2～3ヶ月
2	6	危険への予防策と家族からの要望を重視し、建物構造から施錠を余儀なくされているが、家族にも理解を求め、職員で話し合う工夫が望まれる。 (評価機関の原文通り)	「施錠」に対する理解の一致	実践状況に開けられない扉とあるが、建物は交通量の多い県道に面しており立地上・構造上、安全確保がまず第一であり御家族にも理解をいただいている。また、ご家族からの要望でもあるので重視しています。利用者から外出の要望があれば対応し、日頃から散歩や買い物支援、季節ごとのお出かけなどを提供しています。これらの取り組みは開設当初から取り組んでいます。施錠解除への目標に向かうことが施設の課題とはとらえず、利用者お一人おひとりの個別ケア等を最大限に取り入れ楽しく一日一日を生活していただくことを今後も心がけ、ステップアップしていくことを重要であると考えます。調査員が福祉職の経験がない為か状況を見ていただき、お話してもご理解いただけなかった。	0ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。